

## 会議議事録

事業名	令和7年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」 (4)職業実践専門課程等の充実に向けた取組の推進 ①社会的評価の一層の向上のための共通基盤整備の推進 「新たな持続的・地域対応を重視した第三者評価機関創設に向けた体制整備」
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第1回 評価組織委員会
開催日時	2025年8月5日(火) 15:00～18:00
場所	リファレンス西新宿大京ビル貸会議室
出席者	<p>委員対面: 下菌 恵子、村上 雅弘、成底 敏、沖 直彦、木村 隆浩、 佐藤 善邦、五十部 昌克、松本 晴輝、富田 伸一郎、 小林 幸治、関口 正雄、宮澤 賀津雄</p> <p>委員 OL: 岡村 慎一、及川 源太 計 14 名</p> <p>事務局: 八木 信幸、金月 雅夫 計 2 名</p> <p style="text-align: right;">合計 16 名</p>
議題等	<p><u>1. 開催概要</u> 場所 会場およびオンライン会議システム併用</p> <p><u>2. 議題</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員長挨拶</li> <li>2. 委員紹介(自己紹介)</li> <li>3. 事業の概要及びスケジュール</li> <li>4. 事業の成果</li> <li>5. 事業の進め方について(検討事項)</li> <li>6. その他(次回以降の日程調整)</li> </ol> <p><u>3. 議事要旨</u></p> <p>3.1 委員長挨拶</p> <p>委員長より、本事業の趣旨および委員会の役割について説明があった。</p> <p>これまで母体団体では、内部質保証、人材育成、自己点検評価等の事業に取り組んできており、その蓄積されたノウハウを活かして、全国に分散する会員ネットワークを活用した「地域に根ざした第三者評価の仕組み」を構築することを目指すことが確認された。</p> <p>また、本年度が事業の最終年度であることから、具体的な成果を取りまとめることが重要であり、委員会として積極的に検討を進めていく必要があるとの認識が共有</p>

された。

### 3.2 委員紹介

各委員より自己紹介が行われた。

### 3.3 事業の概要およびスケジュール

事務局より、事業の目的および年間スケジュールについて説明が行われた。

本事業の目的は、全国共通の評価基準に基づき一定の質を確保しつつ、地域ニーズを踏まえた第三者評価を実施できる新たな評価機関の組織体制を構築することである。

事業の柱は次の3点とされた。

1. 第三者評価機関の実施組織体制の構築
2. 評価者要件の整理および育成体制の構築
3. 地域拠点立ち上げに向けた現地組織との調整

令和7年度は、組織体制の検討、評価者育成制度の設計、地域拠点との調整を進めることとし、評価者育成研修の試行は11月から12月頃に実施する予定であることが説明された。

本事業は短期間で制度設計と実証を進める必要があるため、効率的に検討を進めることが重要であることが確認された。

### 3.4 事業の成果

本事業の成果として、以下の成果物を作成する予定であることが示された。

1. 第三者評価機関創設に向けた体制整備成果報告書
2. 評価者育成研修・登録認定制度計画書

これらの報告書は、制度設計、実務体制、人材育成の仕組みを一体的に整理する基盤資料として作成し、令和8年度以降の制度実装につなげることを目的としている。

### 3.5 事業の進め方について(検討事項)

本事業の具体的な進め方について、以下の観点から意見交換が行われた。

#### ① 実施組織体制の構築

新たな第三者評価機関の組織体制について、以下の観点から議論が行われた。

- \* 組織構造および法人形態
- \* 評価機関としての独立性・中立性の確保
- \* 地域団体の役割
- \* 評価事業の費用負担のあり方
- \* 地方自治体との連携の可能性

\* 事務局機能の運営体制

\* 公平性および透明性の確保

評価機関として社会的信頼を得るためには、組織の独立性と運営の透明性を確保することが重要であるとの認識が共有された。

## ② 評価者要件および育成体制

評価者の要件および育成制度について、以下の点が検討された。

\* 評価者の対象範囲

\* 必要とされる経験や専門性

\* 評価者育成カリキュラムの設計

\* 候補者の選定方法

\* 研修の試行方法

\* 既存の審査員の活用

\* 評価活動後のフォローアップ体制

評価者の質を確保するため、体系的な研修制度と登録制度の構築が必要であるとの意見が示された。

## ③ 地域拠点の立ち上げ

地域拠点の形成について、モデル地域の候補として複数地域が検討された。当初検討されていた地域の一部では実施が困難であることが判明したため、別の地域を新たな候補として検討を継続することが確認された。

また、地域拠点の検討にあたり、以下の事項が議論された。

\* 地域団体との役割分担

\* 現地調査および訪問の実施

\* 地域団体の負担軽減

\* 仮想的な運営チームの構成

\* 協定書の作成

## ④ モデル検証の方法

地域拠点と連携したモデル検証の方法について、以下の観点から検討が行われた。

\* オンライン審査と現地審査の組み合わせ

\* 評価チームの構成

\* 費用削減の方法

\* 評価制度の社会的意義

\* 地方特有の課題への対応

\* 国際的な評価枠組みとの整合性

\* 学校経営層の理解促進

第三者評価制度を普及させるためには、学校側の理解促進と制度の社会的意義の共有が重要であるとの意見が示された。

	<p>3.6 その他(次回日程)</p> <p>次回の評価組織委員会の日程について、以下のとおり確認された。</p> <p>次回開催予定：2025年9月16日(火)15:00～17:00</p> <p>以上をもって、本日の議事を終了した。</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第1回評価組織委員会 議事次第(案)</li><li>・ 【R6補正・R7】要項様式1_事業計画書(質保証)全専研_第三者評価</li><li>・ 2025版 自己点検評価表(案)</li><li>・ 第三者評価 業務の全体像</li></ul>